

福岡市大名の Gallery BEM にて、松村菜穂さんの展覧会が開催されるとの情報を頂いた。私という地点からの観察記録だと語る松村さんの写真。「記録する」という写真の本質への魅力を感じ、松村さん取材させて頂いた。

松村さんは長崎生まれ。写真との出会いは中学生の頃。自分でも絵を描いたりしていたことから親がカメラを買ってくれたことがカメラとの出会いだった。しかし、その時は絵を描くことが楽しくてカメラは使用していなかったと話す。美術が好きで大学を美術系の大学に行こうと考え美術予備校にも通った。しかし木炭デッサンでパンを使用することが生理的に受け入れられず、大学の指定校推薦枠が写真学科への推薦だったこともあり、写真学科に行こうと思いついたという。その後、中学生の頃に買ってもらったカメラを使用し始め、九州産業大学の写真学科に進学した。

大学の写真学科での生活はとても居心地が良かった。自分が幼い頃から好きだった美術系の世界に触れ、自分の学びたいことを学ぶ。それはとても素晴らしい世界だけれど、自分が大丈夫だと思う世界に居ただけだと気がついたという。写真に触れ、撮影をしていくと苦しい世界も見えてくる。しかし、写真を撮ることで人生避けて通れない苦しみも耐えられると思えた。大学では、写真家として、アーティストとして、自分の作品を発表することを求められた。しかし、発表はあまりしなかったと話す。大学院卒業後、アーティストとして活動していく以外の道を模索し、福岡の写真館に勤めた。そこで撮る写真は、アーティストとしての写真とは違う、別の生きた写真が撮れた気がした。

何故発表をしたくないのか、それは”ジャッジされる“ことが怖かったからだと話してくれた。自分が撮影したいものは、絶えず変化していく過程に確かに存在した瞬間を撮影したいと思っていた。変化とはその瞬間の連続で、その過程をずっと見ていたかった。それが、ジャッジされることで、選択された瞬間以外を否定されたように感じてしまうことが怖いと思った。

決定的瞬間ではない、その事が起きる前後を撮りたいと話す松村さん。決定的瞬間へ繋がるその瞬間ではない前後の余地。余地があるからこそ見た人それぞれの決定的瞬間の意識に繋がるかもしれない。それはその人にとっての決定的瞬間として選択しなかったものであり、封じ込めておきたいものかもしれない。でもそれは、その人にとって絶対に必要な瞬間であり、それが確かに存在したことを思い出してほしいと話す松村さん。

今回の展示写真は、撮り続けたいといけな思っ撮った写真。作品にするというよりは作品になると思っ撮ってきた写真。長期にわたって撮影してきた写真の数々は、覚悟を決めないと観ることすらできない写真たちだったという。皆んな自分でもわかっている。目をそらしたくない、本当は見たい、けれど目をそらしてしまっている。今回の写真は刺さらない人には全く刺さらないけれど、刺さる人にはしっかりと心の奥底に刺さってくる。そんな強度を持った写真になっていると思うと話してくれた。

写真を撮ることは自分に起きたことを整理して受け入れる行為だと話す松村さん。今日も松村さんは、変化し続ける世界を観察し、世界の余地を記録し続けているだろう。

文 村上博史



## 福岡市美術館

福岡市中央区大濠公園 1-6  
092(714)6005  
開館時間/9時30分~17時30分(入館17時迄)  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)

### ●82 A P展

1月11日(水)~1月15日(日)  
「ギャラリーA」  
A4~全紙 約100点を展示

### ●令和4年度中央区高齢者作品展

1月17日(火)~1月22日(日)  
「ギャラリーA」  
洋画、日本画、書、写真、工芸 約50点を展示

### ●第64回福岡県医師会文化祭美術展

1月24日(火)~1月29日(日)  
「ギャラリーE」  
絵画、写真、書、工芸、彫刻、陶芸、手芸など約40点を展示

### ●フォトクラブ四季彩写真展

2月14日(火)~2月19日(日)  
「ギャラリーA」  
写真約40点を展示

掲載中の写真展は状況により変更となる場合がございます。

## アーシア asi-para(アジパラ)

福岡市中央区今泉2-4-39 拓栄ビル2F  
090(5587)4076  
開館時間/12時~19時  
http://www.asi-para.com/

### ●溝口富士男 写真展

「視生活」〜街角散歩〜  
1月7日(土)~1月20日(金)12時~19時  
※休店日1月11日(水)18日(水)  
最終日17時まで



「カメラ片手に町を歩けば、見るもの全てがパラダイス。ファインダー越しに見える人々の生活を感じて撮り続けたカラーとモノクロA3サイズの写真15点を展示。

### フォトガイドふくおか 提携ギャラリー 写真展利用者募集中!

お問合わせ  
092(287)5590  
info@photoguide.fun

## 福岡県立美術館

福岡市中央区天神5丁目2-1  
092(715)3551  
開館時間/10時~18時(入館は17時30分迄)  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌平日)  
※その他臨時に休館・開館する場合があります。

### ●西日本写真協会福岡支部「フォトニ水会」第26回作品展

1月11日(水)~1月15日(日)  
会員が撮影した写真約35点を展示。

### ●海凜房

福岡市西区今津8-3  
092(401)0237  
開館時間/金・火12時~18時 水・木・土・日 10時~18時  
※(株)エターナルラボプリント取次店/写真展 写真の販売をご希望の方ご連絡ください

### ●Gala photo graphers photo Exhibition 「温故知新」

1月10日(火)~2月25日(土)  
太古の昔より人々のよびこたになってきた場所の写真10数点を展示いたします。

## 福岡アジアン美術館

福岡市博多区下川端町3-1  
リバーセンタービル7・8階  
092(283)1100  
ギャラリー 観覧時間/9時30分~18時  
※金・土曜日は20時迄 ※入館は開館30分前迄  
休館日/水曜日(休日の場合はその翌平日)

### ●Kusku Portrait Model Directory 2022 photoexhibition

2月10日(金)~2月12日(日)  
九州のポर्टレートモデル(出身・在住)縛りで被りなしのグループ展です。

### ●専門学校九州デジタルアート写真学科 PhotoExhibition2023

2月16日(木)~2月21日(火)  
「8階交流ギャラリー」

### ●長崎県美術館

長崎市出島町2-1  
095(500)2110  
開館時間/10時~20時(入場は開館30分前まで)  
休館日/第一・第四月曜日(祝日の場合は翌日)

### ●長崎県美術協会 第21回写真部会員展

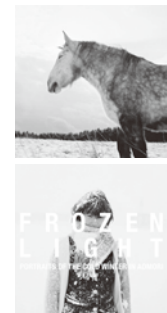
2月21日(火)~2月26日(日)  
「県民ギャラリー」 入場料金・無料

## LIBRIS KOBACO

福岡市中央区大手門3-2-26 401  
090(836)6010  
開館時間/13時~18時  
店休日/火曜水曜(祝日はオフ)

### ●トーカマヒロ写真展

1月14日(土)~2月19日(日)  
アートディレクターとしても活躍するトーカマヒロが世界の豪雪都市・青森をハッセルブラッドで撮影をした美しいフィルム写真の数々。



## 周南市美術館博物館

山口県周南市花館町10-16  
0904(2)00000  
開館時間/9時30分~17時(入館は16時30分迄)  
休館日/月曜日(休日・祝日の場合はその翌日)  
http://shunkajp.bihaku/

1月4日~3月31日施設改修工事の為休館

### ●表紙の写真「frozenlight」

トーカマヒロ/東京を拠点にアートディレクターとして活動する傍ら、写真家としての作品制作を開始。世界一の豪雪都市といわれる青森を舞台に、厳冬のランドスケープと高校生のポートレートを撮り下ろし、アートディレクションから装丁、出版までの全パートを自身のみで手掛けた写真集「FROZEN LIGHT」を発表。国内外でのアートブックフェアへの出展や、フランス/パリのアートギャラリーでの取り扱いや海外からも高い評価を得ている。

■発行/フォトガイドふくおか発行運営委員会  
〒812-0025 福岡市博多区店屋町4-8 蝶とビル205  
☎092(287)5599 info@photoguide.fun  
□デザイン ……神谷風花 □代表・編集長 …村上博史  
□印刷 ……株式会社仲和

※3・4月号の情報・広告のお申込みは  
1月18日(水)~25日(水)までにご連絡ください



SPICE STAND & GALLERY BEM  
福岡市中央区大名1-11-29  
092(721)6000  
開館時間/10時~18時  
https://oen.galley/

### ●松村 菜穂 写真展 sign

2月20日(月)~2月26日(日)  
身の周りに在るものをなだ記録しています。この写真たちは、私という小さな地点から見た、この世界の観察記録のようなものです。

## Profile 松村 菜穂 NAHO MATSUMURA



1993年生まれ 長崎県対馬市出身  
2018年 九州産業大学大学院芸術研究科造形表現専攻 写真領域 博士前期課程 修了  
2018年 片山写真館にてカメラマンとして従事  
2021年 九州産業大学芸術学部助手として就任  
現在に至る。